

主催者からのお願い

この度は、第22回JSCA東海マスターズ長水路スイミングフェスティバルにお申込みいただき、ありがとうございます。97チーム、441名の参加者にて開催できますことを感謝申し上げます、心より御礼申し上げます。大会成功に向けまして、円滑な競技運営、大会運営にご協力下さいますようお願い申し上げます。

◎開場時間について

選手・チーム責任者の開場時間は8時30分とします。2F正面玄関より入場していただきますので、係の指示に従ってご入場下さい。

◎ウォーミングアップ及びダウンについて

全レーン使用のウォーミングアップは、9:30までとなります。(公式スタート練習は9:00~9:15)

水深が2M以上となりますので安全管理は、参加チームの責任において行って下さい。

なお、ウォーミングアップ中は1レーンを常時背泳ぎ専用ダッシュレーンといたします。(本大会は背泳ぎ・メドレーリレー競技の際にはバックストロークレージを使用して競技を行います)

競技は、9レーン仕様で行いますので競技中のアップ及びダウンは、タッチ板のないレーン(10レーン)をご使用下さい。ただし、競技の妨げにならないようご注意ください。

尚、競技中のアップはスタート練習を禁止とします。※開会式中の使用も禁止いたします。

◎開会式について

9時40分より行います。

◎閉会式について

競技終了後、直ちに行います。

表彰者は、競技終了後、ご連絡いたしますのでプールサイド招集所にご集合下さい。

◎競技開始

競技は10:00開始となります。No1、2メドレーリレーに出場する方は、開会式終了後直ちに招集を開始いたしますので、遅れないようお越しください。

◎控え場所について

2F観覧席及び2Fロビーとしますので譲り合ってご使用下さい。

控え場所のスペースは十分にあると思いますので屋外での休憩はしないで下さい。

◎団体受付・撮影許可について

1F大会本部室にて8:30より行いますので代表者の方は必ず受付をして下さい。

団体受付をされない場合、出場をお断りすることがございますので必ず行って下さい。

尚、受付と同時に撮影許可証の販売も行いますので、各クラブ責任者が「撮影許可証申請書」を提出し、「撮影許可ワッペン(1枚200円)」を購入して下さい。個人には販売をいたしません。

◎競技上の注意(競技を安全に行うためのお願い)

50M種目のレース終了時は、全員がゴールタッチしたことを確認した後すみやかに両サイドへ移動し、脈拍が平常脈に下がってからプールサイドに上がって下さい。100M以上種目のレース終了時は、次の組がスタートした後すみやかに両サイドへ移動し、脈拍が平常脈に下がってからプールサイドに上がって下さい。尚、移動の際には、タッチ板に触れないようお願いいたします。

各自レース前のウォーミングアップを必ず行って下さい。

◎世界記録の事前届出

世界記録を突破する可能性のある選手は、事前に指定用紙(大会本部にあります)にその旨を記入して大会本部に届出下さい。その届出にもとづいて、その方が出場するレースに対して、世界新記録の公認に必要な3名の計時員を配置します。※世界記録を突破した場合には年齢を証明するパスポートまたは住民票のコピーが必要となりますのでご用意下さい。

◎表彰について

個人種目及びリレーのメダル(個人1位~3位・リレー1位のみ)は、各競技終了30分後から2Fメダル引渡し所にてお渡ししますので取りに来るようにして下さい。必ずメダル種別・数を確認してからお持ち下さい。

また、どうしても時間内にメダルを受け取れない場合は、クラブ責任者が所定の手続き(着払い手続き)を競技開始から競技終了までに2Fメダル引渡し所にて行ってください。大会当日以降の取り扱いはいっさい行いません。

※記録証はチーム受付時にお渡しします。ランキング(予約)は、チーム宛に後日郵送いたします。

◎競技役員について

当日は、日本SC協会東海支部指定のポロシャツあるいは水泳連盟指定のポロシャツを必ず着用して下さい。どちらの競技役員シャツもお持ちでない場合は、会場にて1着500円で貸与いたしますので大会本部にお申し出ください。ズボンには紺色または黒色の長ズボンを各自でご用意下さい。昼食のお弁当を本部室にてお渡しいたします。

9時15分より競技役員控室で打合せを行います。

注意事項（公共の施設ですので下記のことを必ずお守り下さい。）

1. 競技は、一般社団法人日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。
2. 競技は、全てタイムレース決勝で行います。
3. 競技運営上、同一種目に限り2グループ以上同時に競技を行う場合があります。
4. 本大会はバックストロークレッジを使用して競技会を行います。
5. 招集は、レース20分前より行います。（時間調整は行いません。進行にご注意下さい。）
6. 健康管理には、各個人及び各クラブでよく注意をして下さい。もしもレース出場前に自分の体に異常を感じたら、レースを棄権して下さい。
7. プールサイドは、選手・コーチを問わず素足のみでお願いいたします。競技役員は、役員用白シューズ使用可。
8. プールサイドは、水着及びトレーニングウェア以外で入場しないで下さい。
9. 更衣室では、必ずロッカーを利用し（必ず施錠のこと）、通路に私物を放置しないようにして下さい。
10. 撮影は、各クラブ責任者がまとめて「撮影許可ワッペン」を購入の上、行って下さい。
11. 観覧席での飲食は禁止です。観覧席下通路及びロビーをご利用下さい。
12. 当日出たゴミは必ず各自でお持ち帰り下さい。備え付けのごみ箱は使用禁止です。
13. 貴重品の保管は、各自でお願いいたします。紛失されても主管側としては責任を負いかねます。

訂正リレーオーダーの提出時間

メドレーリレー	9:15まで
混合メドレーリレー	10:15まで
混合フリーリレー	14:00まで
フリーリレー	15:15まで

- * リレーのオーダーに変更がある場合のみ1F大会本部室へ時間までにご提出下さい。
尚、エントリーした年齢区分以外は出場できません。（年齢区分の変更はできません）

その他

1. 参加者全員の方に（一社）日本マスターズ水泳協会公認記録証をお渡しします。
2. 年齢別、種目別のタイムレース及び申告タイムレース上位3位までメダルを授与いたします。尚、リレーは、1位のみとします。
3. 出場者の中からベストマスターズ賞1名、マスターズ賞2名が表彰されます。
4. 日本スイミングクラブ協会東海支部加盟クラブに対しまして、男女総合1～3位までクラブ対抗カップを授与致します。
5. 個人・リレー種目メダルは、2Fメダル引渡し所にて各競技終了30分後からお渡しいたします。

特記事項

大会期間中の忘れ物のお預かりは、一週間は事務局で保管致しますがその後は処分させていただきます。

大会当日、天変地異、天候条件、社会情勢によりやむを得ず大会を中止することがあります。

その場合は、申込金の返金はできませんのであらかじめご了承ください。

異議申立てについて

フェスティバル当日の競技に関して異議のある場合はそのレース終了後30分以内（金10,000円を添える）

またランキングに異議のある場合はランキング発表後30分以内に、文書でチームの責任者が大会本部へ申し出て下さい。

また、レース前に分かっている異議については、そのレースが始まる前までに、チームの責任者が大会本部へお申し出下さい。異議については、総務で審議して決定します。

フェスティバル時間内での事故に関しては、全て参加者の責任において処理して下さい。応急処置は致します。

■ (一社) 日本マスターズ水泳協会競泳競技規則 (抜粋)

- (1) 出発について (背泳ぎを除く)
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。(MSW4.1)
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。(MSW4.1)
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁につける。(MSW4.1)
- (2) 背泳ぎについて
 - a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ているなければならない。折り返しの間およびスタート後、折り返し後の壁から15m以内の距離では体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。(MSW6.4)
 - b. 折り返しを行っている間に、泳者の体の一部が自レーンの壁に触れなければならない。折り返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は折り返しを始めるために、速やかに一連の動作として、片腕あるいは同時の両腕のかきを使用することができる。足が壁から離れたときには、あおむけの姿勢に戻っていないなければならない。(MSW6.5)
- (3) 平泳ぎについて
 - a. スタートおよび折り返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが1回許される。(MSW7.1)
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りに続かない腕のかきだけになってもよい。最後のサイクルの間に頭が水面上に出れば、タッチ前の最後の一かきの後は頭が水没してもよい。(MSW7.6)
- (4) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。(MSW8.3)
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。(MSW8.4)
 - c. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールタッチまで体は水面上に出ているなければならない。(MSW8.5)
- (5) 招集について
競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。(MSW10.4)
- (6) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。その違反が故意と認められたとき、審判長はその事実を競技会の主催団体および競技者の所属する団体に報告する。(MSW10.9)
- (7) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、混合を含め(MSW5.4) リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。リレーの第1泳者が違反なく泳ぎ終われば、続く泳者に失格があったとしても、第1泳者の記録は無効にならない。(MSW13.5)
- (8) 水着の規定について
競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。(MSW15.1)

競技順序

8月20日(日曜日) 【第1日】

レース間隔：45秒(背泳ぎ+ 0秒 リレー+ 0秒)

No. 1	女子	4x 50m	メドレーリレー	1組	10:00	4種目
No. 2	男子	4x 50m	メドレーリレー	2組	10:04	11種目
No. 3	女子	200m	個人メドレー	2組	10:11	16種目
No. 4	男子	200m	個人メドレー	3組	10:21	27種目
No. 5	女子	50m	自由形	8組	10:34	68種目
No. 6	男子	50m	自由形	9組	10:47	78種目
No. 7	混合	4x 50m	メドレーリレー	1組	10:59	5種目
No. 8	女子	50m	背泳ぎ	4組	11:03	32種目
No. 9	男子	50m	背泳ぎ	4組	11:10	31種目
No. 10	女子	50m	平泳ぎ	4組	11:17	33種目
No. 11	男子	50m	平泳ぎ	6組	11:24	51種目
No. 12	女子	50m	バタフライ	2組	11:35	16種目
No. 13	男子	50m	バタフライ	4組	11:38	33種目
No. 14	女子	800m	自由形	3組	11:44	27種目
No. 15	男子	1500m	自由形	5組	12:33	45種目
No. 16	混合	4x 50m	フリーリレー	1組	14:48	9種目
No. 17	女子	100m	自由形	4組	14:52	34種目
No. 18	男子	100m	自由形	6組	15:02	49種目
No. 19	女子	100m	背泳ぎ	3組	15:17	25種目
No. 20	男子	100m	背泳ぎ	3組	15:26	21種目
No. 21	女子	100m	平泳ぎ	2組	15:34	17種目
No. 22	男子	100m	平泳ぎ	4組	15:40	33種目
No. 23	女子	100m	バタフライ	1組	15:52	4種目
No. 24	男子	100m	バタフライ	2組	15:55	11種目
No. 25	女子	4x 50m	フリーリレー	1組	16:01	6種目
No. 26	男子	4x 50m	フリーリレー	2組	16:05	13種目
					競技終了予定	16:11

競 技 役 員

審判長	井添晃(岡崎竜城SC)	
副審判長	桜本潤司((一社愛知水泳連盟)	佐藤郁男(BIG東海)
出発合図員	主 石川博明(ソノダSS) 岡田美穂(ルネサンス小幡)	杉本典子((一社愛知水泳連盟)
泳法審判員	主 植田泰弘(みなとSS) 北澤義久((一社愛知水泳連盟) 国京敏光((一社愛知水泳連盟) 大河内健太郎(JSCA東海)	副 榎原和彦((一社愛知水泳連盟) 上田ヒロ子((一社愛知水泳連盟) 安藤秀元(BIGアミ) 濱田慎也(ウィル大口)
折返し監察員	主 柴田浩史(アクアS北) 山田守彦((一社愛知水泳連盟) 鈴木省三((一社愛知水泳連盟) 1 田中壮典(セ・いなす) 2 山之内勲(コナミ鳴海) 3 山口哲矢((一社愛知水泳連盟) 4 豊島博昭(アクトス一宮) 5 村松理助((一社愛知水泳連盟) 6 落合有見子(GOLDFISH) 7 加藤昭伸(ロングウッド) 8 広田玲子(コナミ植田) 9 瀬戸瑞樹(中京Squalo)	副 富田伸((一社愛知水泳連盟) 畠山清((一社愛知水泳連盟) 鈴木将夫((一社愛知水泳連盟) 大西広朗(みなとSS) 北埜早希子(ロイヤルSP) 五島克己((一社愛知水泳連盟) 青山実((一社愛知水泳連盟) 高田一臣((一社愛知水泳連盟) 朝比奈隆(一宮酔泳部) 山田和樹(ル・甚目寺) 佐藤寛二(平針SS) 阿部一博(名鉄SS半田)
計時員	主 阿部美智子(NPO口論義)	副 川端貴也(ウエスト上野)
コンピュータ	主 森幹雄(東洋電子システム)	
速報係	主 柴田俊正(チームシバタ)	土屋憲和(SPL可児)
機械操作員	主 花井智(東邦SS) 花井敏(アシスト蟹江) 下村猛(BIG桑名)	副 寺崎央起(東邦SS) 潮田健太郎(愛知県警水泳部) 中村裕紀(コパンSS)
招集員	主 内藤鎌爾(尾西SS) 山岡圭(コナミいりなか) 宮道末利子(桃太郎SS) 河合伸太郎(グンゼワンダー)	副 前田泰生(アクトス八事) 佐藤千秋(コナミ星が丘) 岡英樹(BIG緑) 三谷英雄(セ・千種) 山崎篤司(JSCA東海)
救護	服部正資(JSCA東海)	
ライフガード	補助員(愛み大瑞穂高水泳部) 補助員(愛み大瑞穂高水泳部) 補助員(愛み大瑞穂高水泳部)	補助員(愛み大瑞穂高水泳部) 補助員(愛み大瑞穂高水泳部) 補助員(愛み大瑞穂高水泳部)
通告員	主 橋本雅子(ソノダSS)	小川美由紀(稲沢SS)
賞典	主 中川咲江(ルネサンス熱田) 川口礼(豊田SS) 三浦由紀子(A.U. Network)	吉田晴彦(みなとSS) 藤田沙巳(上社SS) 久保恵理(KL春日井)
受付係	主 高間和幸(名古屋SC)	岩川令奈(名古屋SC)
総務	主 高間和幸(名古屋SC) 大河内健太郎(JSCA東海)	濱田慎也(ウィル大口)
医 師 看 護 士	水野幸恵	